

特別展

忠臣蔵の真実

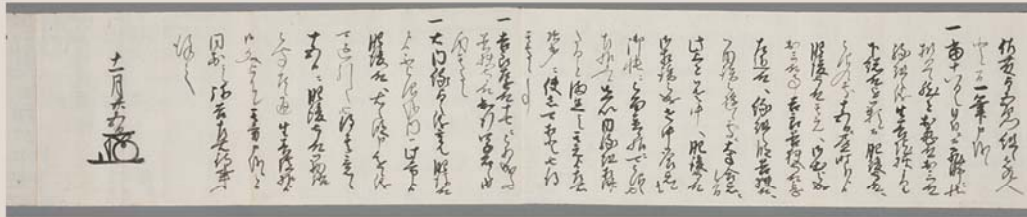
～ 赤穂事件と米沢 ～

元禄14年(1701)3月14日、赤穂藩主 浅野内匠頭長矩が江戸城で吉良上野介義央に切り付けた刃傷事件は、吉良義央や米沢藩にとって大変な災難でした。時の4代藩主上杉綱憲は、吉良義央の実子だったからです。

そもそも米沢藩30万石、2代藩主上杉定勝の娘三姫と、江戸幕府高家4000石(吉良領3000石、上野領1000石『寛政重修諸家譜』による)の吉良義央との縁組への疑問がたびたび語られてきましたが、このたびの展覧会ではその解明にも努め、三姫の兄である3代藩主上杉綱勝の急逝による上杉家の存続問題、吉良義央の真の人物像にも迫ります。

そして突然の悲劇、刃傷事件に米沢藩ではどのように対応したのでしょうか。討入りの実態はいかがなものであったのでしょうか。また、赤穂事件は米沢藩や上杉家そして地域にどのような影響を及ぼしたのかも紹介します。

一方、赤穂事件は人形浄瑠璃や歌舞伎など文芸の世界で大人気となりました。史実とは異なる創作の世界もご紹介します。



①



②



③



④



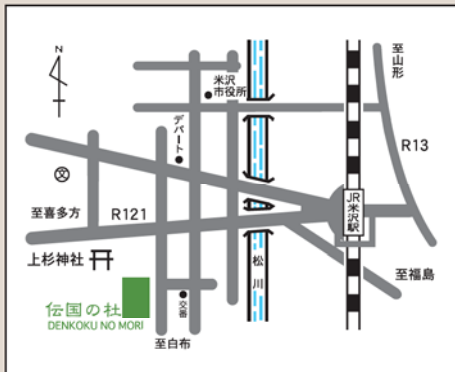
⑤



⑥

【主な展示資料】

国宝 上杉家文書	後光明天皇口宣案(上杉綱勝/従四位下) (明暦3年)11月25日千坂兵部宛上杉綱勝書状(写真①・部分)	米沢市上杉博物館蔵
西尾市指定文化財	職人歌合絵巻 吉良上野介所用 茶道具一式(写真②) 三十六歌仙絵巻(写真③・断巻)	市立米沢図書館蔵 華蔵寺(西尾市)蔵 華蔵寺(西尾市)蔵 花岳寺(西尾市)蔵
西尾市指定文化財	木造七面大明神(写真④) 柳原資廉関東下向道中記 江戸城障壁画下絵のうち「黒書院 襖下絵」 池田月潭筆「赤穂義士討入図」(写真⑤) 大熊弥一右衛門見聞書(大河原文書)(写真⑥・部分)	真正寺(西尾市)蔵 岩瀬文庫(西尾市)蔵 東京国立博物館蔵 長井市蔵 大河原重昭氏蔵



【ワークショップのご案内】

募集制ワークショップ
「バルサでつくるすてきなクリスマスオブジェ」
日時：11月23日(土) 10：00～16：00 対象：小学生親子 定員：20名
参加費：500円 ※申込受付 10月24日(木)～

【置賜文化ホールからのご案内】(お問合せ 0238-26-2666)

お豆腐の笑い 茂山狂言の会
番組：狂言「蝸牛(かぎゅう)」「千鳥(ちどり)」
日時：11月22日(金) 18：00開場 18：30開演 会場：置賜文化ホール
指定席3,000円 自由席2,800円 学生券(指定・自由)1,000円(当日各500円増) 5歳から入場可

【次回展覧会】コレクション展 「ふるさとの情景～この地に注がれた芸術家のまなざし～」
2013年12月7日(土)～2014年2月2日(日)

交通のご案内 ■JR米沢駅から2km、上杉神社隣接 ■市内循環バス「上杉神社前」下車 ■市内循環バス南回り路線「九里学園前」下車 ■山形蔵王IC・福島飯坂ICよりR13で約50分